

No.2 1 「中学校」

おはようございます。校長先生の声、届いてますか？朝晩は寒いのですが、お昼間は暖かい、体調を崩しやすい季節です。十分気をつけて過ごしましょう。

さて今日は中学校についてお話しします。6年生はあと少しで卒業ですね。そして4月からは中学生ですね。他の学年のみなさんも、いつかは確実に中学生になるのですから、中学校のことを知っていても損はないと思いますので、しっかり聞いてください。

校長先生は長い間中学校の先生をしていました。中学校のことについては少しは詳しいと思い、また6年生の卒業を前に、お話しをしたいことがありましたので、今日の朝会で紹介いたしますね。

中学校といっても、大筋では同じです。クラスがあって、担任の先生がおられて、1時間目から6時間目まで国語や体育などの勉強をして。給食やお掃除の時間もあって、終わりの会でさようなとなります。

では違うところは、

① 教科担任制。高学年では少しそうなっていますが、全部の教科違う先生が教えます。国語は国語の先生、音楽は音楽の先生が教えます。より専門的で難しくなるからなんです。

② 教科が少し変わる。算数は数学に。技術という教科も増えます。算数は勉強する内容はそれほど大きく変わりませんが、少し難しくなります。技術は、イスやラジオをつくったり、お花や野菜を育てたりします。パソコンの勉強も技術でしていきます。

③ 定期テスト。テストそのものは大きく変わりませんが、小学校のようにクラスや学年によってバラバラにテストをするのではなく、学校全体で、今日の1時間目は国語のテスト、2時間目は数学のテストと決めて全員で行います。だいたい年5回ぐらい行います。5回なら少ないと思った人も

いるかもしれませんが、1回のテストが2～3日ありますし、テスト範囲がすごく広くてテスト勉強が大変なので、小学校のときのように、ちょこちょこテストしてくれた方がいいという意見も聞こえてきます。

④ 他にもいろいろ違いがあるのですが、一番の違いは、卒業後の進路が人によってバラバラになってくるのです。小学校の場合は、他の中学校に行く人もいますが、ほとんどのひとが木津中に行くと思います。しかし木津中を卒業したあと、同じ高校に行く人は、多くて4～5名ぐらいでしょうか。ほとんどの人がバラバラに高校を選びます。中には高校には行かないで働く人もいます。

なぜバラバラの行き先になると思いますか。

それは、みんな勉強したいことがバラバラだからなんです。国語をたくさんしたい人、スポーツを頑張りたい人、音楽、パソコンの勉強をしたい人など人のやりたいことはバラバラだからなんです。

今、大阪に高校は約300ほどあり、それぞれに特徴があります。2つとは選べませんので、その中から、自分が本当に勉強したいこと、がんばってみたいことができる高校を選ぶ。先生でもお家の人でもなく、自分で1つだけ選ばないといけません。そこが小学校との大きな違いだと思います。

自分の本当にしたいことはなんなのか、どんな大人になりたいのかということをしっかり持っていれば、300の高校の中から選ぶことは簡単ですが、しっかり持っていない人は大変です。

そして、自分がどんな大人になりたいかは、小学生のみなさんでも、十分考えることができます。みなさんは、どんな大人になりたいですか？やさしい大人？立派な大人？こんなふうでもいいですし、プロ野球選手、お花屋さんみたいにお仕事でかながえても構いません。どんな大人になりたいか、少しまわりの人と聞き合ってみましょう。

色々な大人のなりかたがありますね。またまだそんなこと考えたこともないという人もいるかもしれません。大丈夫です。小学校のあいだは、ゆっくりと、ときどきこんな大人になりたいなあぐらいでもいいと思います。もちろん逆に、**YouTuber**、マンガ家などになりたいものがハッキリしていてもいいですよ。校長先生はみなさんのどんな意見も尊重しますよ。

それでは皆さんがになりたい大人について、もしよかったら校長室の前のボードに書きに来てください。今日も最後まで先生の話静静地に聞いてくれてありがとうございます。では今週もがんばっていきましょう。これで校長先生の話が終わります。